

平成29年度第3回東成区区政会議「子ども・教育部会」

1 開催日時 平成30年2月20日（火） 19時34分から20時16分まで

2 開催場所 東成区民センター大ホール

3 出席者の氏名

【委員】

田中 良和（議長）、板垣 理恵子（副議長）、茶谷 儀夫、東方 宏祐、
永門 武志、鍋田 仁史、福永 美和子、藤井 宣昭、山口 晴康

【東成区役所】

足立 幸彦（総務課長）、植田 浩史（市民協働課長代理）、井上 徳久（まち
づくり・教育支援担当課長代理）、大野 孝文（児童・保健担当課長代理）

4 委員に意見を求めた事項

東成区将来ビジョン（案）、平成30年度東成区運営方針（案）及び平成30年度予
算（案）について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○田中議長 それでは皆さん、こんばんは。子ども・教育部会ということで、この
部会の教育環境と子育て支援の充実に関わって、皆様方が意見や提案を述べる会議と
いうことになっております。

先ほども言われましたが、部会の40分間のうち、始めの30分間は勉強会ございま
す。この勉強会というのは、御自由に意見を述べていただくということになると思ひ

ます。議事の記録はせずということでございますので、各課長さんからの課題の説明と自由な意見交換の時間とさせていただきます。そして20時からの10分間で部会意見の集約をいたします。それでは勉強会を始めます。

それとその前に、前回、子育ての、「伝えよういのちのつながり」というエッセイ募集を宝栄さんの方でやられたということで、今日、会長もおられますが、茶谷さんの方からこの資料いただきましたので、お配りさせていただきました。御参考にしていただければと思います。

では、よろしく申し上げます。

<区役所各課長からの資料6に基づく説明>

<部会での自由な意見交換>

○東方委員　　これ、海外のボランティア経験者って一律に書いてはるけども、海外から日本に来て、国際交流でボランティアで通訳とか地域を案内してる学生さんとか社会人の人ってたくさん身近におられると思うので、そういう方は、何か言うたら1つは英語を覚えたいとかいろんな活動でそういう海外の人と、日本を案内していろんなことやってるんやけども、やっぱり日本人の中で英語ってなかなかしゃべれないと。そういうことで英語を学んでいかなあかんとか、いろいろな思いでやっておられる若い人の生の声を小学生や中学生に教えてあげた方が、それだけやないんやけど教えてあげたらもっとやっぱり身近に感じるん違うかなと思う。

○板垣副議長　　大阪城の観光ボランティアって御存じですか。

○井上教育支援担当課長代理　　御意見は慎重に参考にせなと思ってるんですけど。国際理解教育をっていうことで、英語教育ではなく。

○東方委員　　英語じゃなくて、その海外のいろいろな文化とかそういうのも吸収してくるはずなんですよ。ただ単に案内して日本、ここでこんなんですよっていうこと

じゃなくて、ただその人らもその国の来てはる人のいろいろな国のことを知って。

○井上教育支援担当課長代理　　今、予算上で考えていますのは、平たく言うと国際交流ということで、海外に青年協力隊で行かれた隊員の方です。ですから。

○東方委員　　そういうこだわり別にせんでもええん違うの。

○板垣副議長　　いいと思いますよ。

私何年か前、友達に頼まれてチェジュ産業大学からの5人を預かったんですよ。何をさそうかなと思って悩んだんですよ。うちレックスマンションの夏祭りがあるからスタッフに入ってもらいました。結構子どもたちも楽しく、スタッフの人たちも楽しく、うちの家でもえらく盛り上がったんですけど、チェジュの子も英語しゃべるんですよ。やっぱり共通語が英語やから。で、みんな単語を並べまくって、それでも何かおかしいんか、笑うところはちゃんとしっかり笑いはるし。

○井上教育支援担当課長代理　　この出前講座では英語は一切考えていないです。

○板垣副議長　　そういう意味じゃないです。さっきおっしゃったとおり、入り口の意思の疎通は言葉やし、態度やし、しゃべられなかってても笑うとか泣くとか、やっぱりそうなるも単語でもしゃべれたほうが国際の理解は受けやすいということですよ。

○井上教育支援担当課長代理　　英語が出てくるのは、海外から来られる方の技術研修との交流のシーンであって、この出前講座はあくまでも日本人が海外行った、経済支援であるとか技術支援であるとか。

○板垣副議長　　言うてはるんはよくわかるんですけどね。

○井上教育支援担当課長代理　　英語は一切ここは出てこない。どちらかというとその国の例えば食料面であるとか、環境破壊であるとか、そういった部分のお話をしてもらうのがメインになる。

○板垣副議長　　わかるんですけどね。でも人間の触れ合いってそんなもんじゃないですよ。やっぱり握手するとか、笑うとか泣くとか、そういうところから理解が始まるのでね。

○山口委員　少し臨機応変に考えたらいいん違います。

○板垣副議長　そうです。臨機応変に。

○山口委員　こだわってね、そういうのじゃないとあかんとかじゃなくて、いろんな国の人を知るために。

○鍋田委員　もうちょっと固定的に考えずに、言われてはるように柔軟に考えられた方がええんじゃないかなと思います。これが国際理解教育だというような思いも皆さんにはあるんだと思いますけれども、いろいろ出てはるみたいに、いろいろな考え方が、多様な考え方があるから、その辺ちゃんと。

○井上教育支援担当課長代理　もちろんそのつもりです。

○鍋田委員　もちろんそのつもりやと思います。

○井上教育支援担当課長代理　言葉が足らんとします。すみません。

○鍋田委員　ごめんなさい、こんなこと言って。

○井上教育支援担当課長代理　そもそもの説明ができてないもので、ちょっと一生懸命説明しようと思ひまして、すみません。

○板垣副議長　だから区民の声を聞くんですよね。

○山口委員　だから皆さん意見言ってる。

○井上教育支援担当課長代理　いろんな手法をちょっと勉強させてもらいますので、すみません。

○山口委員　よろしくお願ひいたします。

○田中議長　ちょっと時間になっていまして、まとめに入らないかんのです。

○永門委員　さっき聞こうとしたことは山口さんが聞いてくれた。

○田中議長　まとめに入ります。報告するのに私がせなあきませんので、勝手なこと言うたらいけないので。どうでしょう、子育て支援で、これは取り上げておこうというのがありますか。山口さん。

○山口委員　僕が聞いたかったのは質問という形で区役所の方でおざなりなことを

やっていますよというんじゃなしに、きちんとその方たちにポイント、ポイントでちゃんと知らしめている努力はしていただきたいということです。

○永門委員　追加するなら、この障がい有的时候に親がどこに相談したらいいかわからない。それが区政だよりに書いているけれど、区よりもやっぱりかかりつけの医者が1歳半、3歳の健診でやるけども、起こるのは小学校に入る前のときに突発性が起こるわけよ。それは誰が判断するねんってわかれへん。それちょっと聞きたい。心理指導員って何人いてるんですか。

○板垣副議長　それはこの間、大阪市で募集していたけど。

○田中議長　要望にしましょうかね。

○板垣副議長　要望ということで。

○田中議長　意見やから要望でええと思います。だからどこに相談するのがいいのかわかるような広報でよろしいか。

○山口委員　そうですね。

○板垣副議長　発信方法を考えて欲しい。区政だよりとか、健康診断だけではなくて。

○山口委員　おぎなりにぱっとするんじゃなしに。

○板垣副議長　そういうことでよろしいですかね、皆さん。

○田中議長　相談窓口の情報発信ということで簡単にまとめてみましたがよろしいでしょうか。言うたことと書いていること全然違うけど。

○藤井委員　最初に言い合ったように人材がいっぱいいてはると思うんですよ。PTA主催の中学校の周年事業があったんですけど、先輩方探す時に結構たくさんいらっしゃると思うんですけど、なかなかその情報がないので、地域にいろいろなさっきの西本さんもそうですし、スポーツ選手いてはると思うので、そういう方をどれだけ把握しているかですよ。

○田中議長　だから、それは教育環境のこれにいくと思うんですけど、例えばもっ

といろいろな東成の人材の情報収集や確保、どうですか。

○足立総務課長 区役所にまずはちゃんと情報を集めてもらって、それをいろいろな、子育てもそうですし、いろいろなところに活かして欲しいということですよ。

○板垣副議長 もっともっと東成を知るための情報収集場所みたいなのが欲しい。みんないっぱい情報を持ってるけど、なかなかそういう発表するところもないし、いざ机並べると言いにくいことって何か人間ありますよね。私みたいにずうずうしい人がおりはらへんから。

○田中議長 これだけはちょっと言うといえよというのがあれば。今、私まとめると、どこに相談すればいいのかというのは要りますか、保護者がにしますか。保護者がどこに相談すればいいのか、情報の発信方法を考える。

○板垣副議長 もっと考えて欲しい、平たく考えて欲しい。難しいですよ、でもね、区役所も区政だより（広報紙ひがしなりだより）しかないもんね、区民に発信するのって。だからもっともっとまち協（まちづくり協議会）を利用しはったらいいのに、まち協を利用してはりませんよね、全然。役所としてはね、もったいない。

○田中議長 次言うよ。東成区内の人材の情報の収集と活用。どっかあったね。そうそう、それで。育成じゃないかな、そこじゃないね。それは子育てのどこやね。

○茶谷委員 もともとある子どもの体力の向上や。

○井上教育支援担当課長代理 今、言われてるのは体力とか・・・地域の人をっていう話。

○田中議長 そやから運動の人もおるし、そういう文化系の人もおるし、そういうのをともかく情報、だから我々も情報を発信し合わないとかかんとおもいます。今みたいにここにいてはるよとか。御存じやと思いますけど、金城龍彦なんか中本の人間やし、新井宏昌もそうやし、佐伯貴弘は大成の人間やし、そういうのを言うてるわけですよ。だからそんなん、今ここにおりませんが、ただ本庄中学校の出身やということであれば、その同級生がおるわけですから、同窓会とかでたまに来たりしよる

んで、呼んだらええかなとかね。

○板垣副議長 富司純子な。この間、中道の100周年来てはった。

○田中議長 人材の情報。今2つなんですけど、もうちょっとないですか。もうこの2つぐらい、ここはまとめてよろしいですか。あの辺が全部ね。

○山口委員 予算がほぼ決まっている段階で、この予算をこういうふうに使ってくださいという要望ですから。この予算をどうこうする話じゃない。

○板垣副議長 有効にお金を使って。

○田中議長 この中でやね。

○板垣副議長 予算額に対しては皆何も言わない、わからない。

○田中議長 子育て、この辺はもういいんですかね。これ、前、リーフレットを産婦人科やとか保健所やとか置いたらどうでっかというような意見は。

○山口委員 すくすくにつながりますね。それをまだ。

○田中議長 前回そういう話しましたよね。

○板垣副議長 してました、してました。

○田中議長 これもう一遍言っときましょうか。

○板垣副議長 そうですね。子どもが集まる場所置いとけへんかったら。

○田中議長 これも情報源の発信場所になるんですけどね。

○板垣副議長 区政会議、2回目やけど難しいね。あまりにも広過ぎてね。せやからって地域ごとでやると、じゃあ区はどないなるねんっていうことになるから、そのために区政会議はあるから来たら言わせてもらう。言わせてもらうってずうずうしい言い方やけど、日ごろ感じてることを言わせてもらう。だって区役所の人ってみんな代わりはるけど、住民は何十年もそこに暮らしているから一番歴史を知っていますよね。

○田中議長 すくすくつながるクラブは、そういうリーフレットもね、要するにこれも情報の発信方法ですね。

○板垣副議長 情報の発信方法ですね、それを入れてもらう。

○田中議長 子育て支援の情報の発信方法。

○板垣副議長 ここ塩飽君ってまだいるんですか。彼がその時の事務局してくれたんで、その時、当時、彼若かったから、板垣さん、僕何してるかわかりませんっていうから、私もわからへんわ。でも将来役立つ時絶対あるから、その時の証人になったらいいんじゃないかって言ったの覚えてますけど。4代目桂米團治さん、米朝さんの息子さん、喜んで来ると思いますよ、あの時来たんで。彼のためにやったみたいというか、彼の襲名と東成の文化・芸能が合致してできたイベントなので。企画進行した人、東成の住民なんで御紹介します。

○井上教育支援担当課長代理 その人が企画した？

○板垣副議長 私たち区民が企画しました、全て。

○井上教育支援担当課長代理 運営も？

○板垣副議長 はい。その一人なので。歴史を聞いてください。ざこばさんも来てはりました。3代目米團治さんのお弟子さんやったから喜んで来てくれはった。米朝さんはお亡くなりになりましたけど、当時、入退院繰り返してはったのにわざわざ来ていただいたりして。

<全体会議会議録P11に続く>